

アジア・スマートシティ会議2025(ASCC2025) の開催結果について

国際・経済・港湾委員会資料
令和7年12月11日
国際局

1 趣旨

アジア・スマートシティ会議 (ASCC) とは

- アジアの都市、政府・国際機関、学術機関、企業の関係者などが集まる、本市主催の国際会議
- 第14回目となる、ASCC2025は「環境にやさしい循環型社会に向けて」をテーマに開催

2 開催概要

(1) 日時・会場

令和7年11月25日(火)～27日(木)・パシフィコ横浜ノース ※27日は海外都市関係者向け視察

(2) 主なセッション主催者

アジア開発銀行、世界銀行東京開発ラーニングセンター、シティネット等

(3) 後援

内閣府、外務省、財務省、経済産業省、国土交通省、環境省、シティネット

ASCC2025の開催結果について

3 開催実績

(1) 参加都市・機関数（主な参加都市・機関）

52（バンコク都、ダナン市、イクレイ欧洲、国連機関など）

(2) 参加者数

約 2,000名

(3) セッション数・登壇者数

15セッション、109名

(4) ブース出展者数

45企業・団体

(5) 協賛企業数

6社



ASCC2025の様子

ASCC2025の開催結果について

4 主な成果

(1) アジア循環型都市宣言制度の発表と署名

a. アジアの循環型都市への移行に向けた公開要望

- ・ 横浜市が発起都市となり、アジア諸都市のリーダーとともに、アジアの循環型都市を後押しする新たな枠組みの制度設立を、国際機関などに公開要望^(※1)しました。

※1 【公開要望の骨子】

アジアにおける循環型都市社会の実現に向けてアジアの都市のリーダーが国際機関及び関係者に、以下の取組を要望

- ・ アジア各都市の実情に即した「循環型都市宣言」枠組みの策定及び運営
- ・ 自治体職員を対象とした能力開発等を含む技術協力の提供
- ・ 政策立案支援の実施
- ・ 優良事例の認知や表彰
- ・ 循環型都市宣言の運営及びプロジェクトの実施に対する協賛や支援の提供



公開要望の様子

ASCC2025の開催結果について

4 主な成果

(1) アジア循環型都市宣言制度の発表と署名

b. アジア循環型都市宣言制度の創設

- 公開要望の結果、イクレイ^(※2) 日本は、「アジア循環型都市宣言制度」^(※3) の創設を発表しました。

※2 【イクレイ（ICLEI：持続可能な都市と地域をめざす自治体協議会）】

世界 2,500 以上の自治体による都市ネットワーク。国連に対して自治体を代表した発言を行うなど、持続可能な都市と地域の実現を目指す。日本からは横浜市を含め 27 自治体が加入。



アジア循環都市宣言制度創設発表の様子

※3 【循環型都市宣言制度】

2020年に欧州で循環型都市宣言制度が初めて創設され、現在約90都市が参加。各都市は、循環型都市への移行に向け目標を定めることなどを宣言するとともに、課題や先進事例を共有している。



イクレイ日本ウェブサイト
「アジア循環型都市宣言制度」

ASCC2025の開催結果について

4 主な成果

(1) アジア循環型都市宣言制度の発表と署名

c. 国際機関が循環型都市等について議論・後押し

- 環境省、国連機関、シティネット、世界経済フォーラム、循環経済の専門機関であるサークルエコノミー財団など多様な機関から、アジアでの循環型都市推進の動きに賛同と大きな期待の声が寄せられました。

d. 横浜市が循環型都市宣言制度に署名

- イクレイ日本が設立した「アジア循環型都市宣言制度」に、発起都市である横浜市が第1号都市として署名しました。



横浜市が第一号として宣言に署名

ASCC2025の開催結果について

4 主な成果

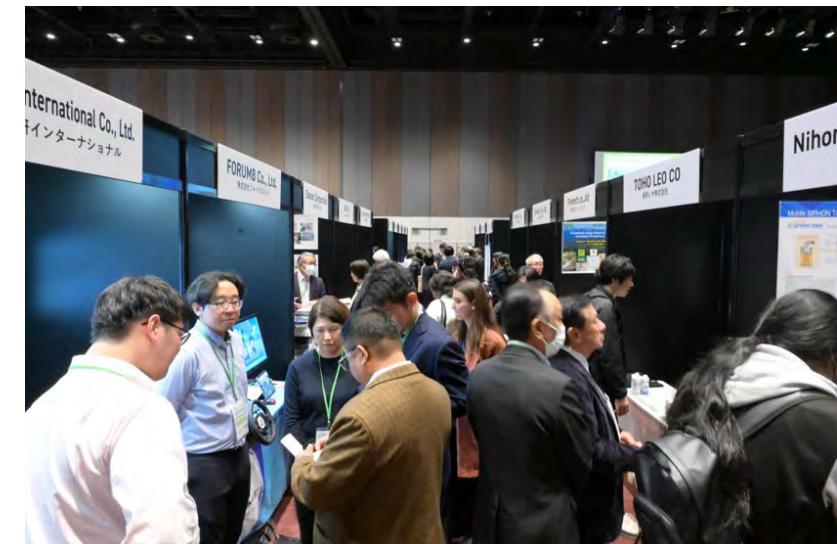
（2）多様な機関が都市ソリューションを発信

a. 都市の実践事例の共有

- アジア開発銀行、世界銀行、JICAなどがセッションを通じて資源循環や脱炭素などの課題について、都市の実践事例を共有しました。

b. 市内企業等のビジネス機会の創出

- 企業・団体45者によるブース出展や、都市と企業が互いに課題とソリューションを共有するセッションなどを通し、市内企業のビジネス創出を支援しました。



ブース展示の様子

ASCC2025の開催結果について

4 主な成果

(3) 山中市長のイクレイ世界理事会理事への就任発表

イクレイ日本から、山中市長が、世界2,500以上の加盟都市を代表して「イクレイ世界理事会理事（サーキュラー成長担当）」^(※4)に就任したことが発表されました。

※4 【イクレイ世界理事会理事（サーキュラー成長担当）】

イクレイ世界理事会本部は、イクレイの最高方針を決定する機関。会長、副会長、地域理事、分野別理事、アドバイザーにより構成され、分野別理事はサーキュラー成長担当を含め10名。山中市長は、今回、日本の都市として唯一世界理事会の理事に就任。サーキュラー成長担当理事は、循環型都市の実現に向けて、国際機関とのパートナーシップ促進や、会員間の議論の促進などの役割を担う。



世界理事会理事就任の様子

ASCC2025の開催結果について

4 主な成果

（4）次世代の積極的な参画

- ・ 横浜市立大学と海外の学生が、環境政策等の切り口から提案を行うセッションを実施しました。
- ・ 市内大学生45名が運営ボランティアとして参加し、国際会議を体験しました。
- ・ 一般聴講者として、多くの高校生・大学生が参加しました。

（5）GREEN×EXPO 2027の機運醸成

- ・ GREEN×EXPO 2027をテーマとするセッションに加えて横断幕、バナーフラッグでの会場装飾、特設のPRコーナーの設置などASCC全体を通してGREEN×EXPOをPRしました。



学生セッションの様子



会場装飾の様子

ASCC2025の開催結果について

5 次年度以降の方向性

(1) 令和8（2026）年度

- 今後、本会議を循環型都市のプラットフォームとして更に成長させ、アジアの都市等と共に、環境と経済が両立する持続可能な都市づくりを加速させます。
- 循環型都市の実現に向け国際社会に貢献していく決意として、次年度から「アジア太平洋循環型都市フォーラム（APCC-Forum）」に名称を変更します。
- 次回APCC-Forumは、2026年9月2日から4日に開催します。

(2) 令和9（2027）年度

- 再来年は、2027年8月31日から9月2日に、国連ESCAPの第9回アジア太平洋都市フォーラム（APUF-9）と一体的に開催します。
- 「GREEN×EXPO 2027」の期間中に行い、循環型都市の取組を、横浜から世界に向けて発信していきます。